

新 高梁人名録



みさわ すすむ 美澤 進氏



美澤進先生顕彰コーナー

6月の定例会スケジュール

6/9	木	本会議 (議案の上程)
15	水	本会議 (一般質問)
16	木	本会議 (一般質問)
17	金	本会議 (一般質問)
20	月	本会議 (議案質疑)
21	火	委員会
22	水	委員会
23	木	委員会
28	火	本会議 (採決)

※6月定例会への請願・陳情のしめ切りは6月2日(木)までです
 ※日程は変更となる場合があります。正式な日程は決まり次第、ホームページでお知らせいたします。

**政治家の寄付は禁止！
有権者が求めることも
禁止されています！**

公職選挙法により、市議会議員が選挙区内でお中元やお歳暮、ご祝儀を出すことは禁止されています。市民から求めることも禁止です。



編集

委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議会広報公聴特別委員会
員	員	員	員	員	員	森 和之	伊藤泰樹	
平松久幸	新倉 淳	金尾恭士	石井聡美	石田芳生	石部 誠			

神奈川県横浜市と高梁市川上町は深い絆で結ばれています。架け橋となつていらっしゃる方が美澤進氏。氏は、1849(嘉永2)年現在の高梁市川上町三沢に生を受け、14歳で隣村の阪谷朗廬が開いた漢学塾・興讓館に学びました。その後東京の三叉学舎で英語を学び、その学習の成果も現れ、福沢諭吉の慶應義塾に入学し、「自由」「人間の平等」「国家の独立・経済」について深く学びました。

1882(明治15)年33歳になった美澤氏は、福沢諭吉の推薦で、創立間もない横浜商法学校(現横浜商業高校・横浜市立大学)の校長として赴任します。美澤氏の指導

力で横浜商法学校は年を追うごとに入学者も増え、商都横浜を担う人材を輩出する学校に育て上げました。

校長在職約40年、75歳で亡くなるまで、時には校長でありながら教壇に立ち、生徒に経済の仕組みを教えました。現在も美澤氏の教学精神は受け継がれ、横浜市の経済界を担う横浜商業高校・横浜市立大学の卒業生に生き続いています。横浜商業高校・横浜市立大学の同窓会は、美澤氏の教え「人と進んで交わり共に資質を高めよ」から「進交会」と命名されています。

川上総合学習センターの改修に合わせ、3月に「美澤進先生顕彰コーナー」が設置されました。

今号の表紙

お姉ちゃんに手を引かれ

今号の表紙は、春の交通安全運動期間中の1コマです。吉備国際大学シャルム岡山高梁の選手をはじめ、地域の老人クラブや交通安全母の会、PTA等各種団体の方々のご尽力によつて通学時の児童、生徒の安全が守られています。

シャルムランドセルカバーを付けた1年生の手を、年上のお姉ちゃんが手を添えて通学する姿は、見守る方々に感動を与え、小学校生活が始まったばかりで不安でいっぱいの子供に安心を与えたに違いありません。

あとかき
 目に映る自然の木々から季節を感じるのには人誰しも同じだと思います。

議会だより50号を編集している間に満開の桜は葉桜になり、新緑の美しい季節となりました。春は命の溢れる季節ですが、海の向こうウクライナでは、戦火によつて破壊された都市や都市を彩っていた樹木が黒焦げになっています。目を覆いたくなる映像が日々ニュースなどで報道されている今年の春は、例年通りに新緑を愛でて幸せな気持ちになれないのは自分だけでしょうか。

(森 和之)

